



青南だより

令和4年3月号

港区立青南幼稚園

園長 新山 裕之

<日々の積み重ねの成果>

お陰様で生活発表会が無事に終わり、今年度も残りわずかとなりました。コロナ禍で誰もが様々な困難と向き合いながらの日々でしたが、最近の子どもたちの何気ない言葉や行動に着実な成長を感じているのは、私だけではないはずです。生活発表会では、普段の遊びや生活の中で楽しんできたことや大事にしてきたことが劇の中に織り込まれていました。ご覧いただいた子どもたちの様子から、主体的な行動を促し支え続けてきた日々の積み重ねの成果を感じていただけたものと思います。

<オリンピックに通じる大事なこと>

ところで、今回の北京オリンピックを見ていて、メダルを取することは目標であって、目的ではないということを強く感じます。勝敗は時の運もあります。アスリートが努力してきた過程や真剣に取り組む姿勢、人としての生き方が大事であり、私はそのことにこそ拍手を送りたいと思います。そして、私たちが子どもたちに育てたいこともまさにそれと同じです。安心して園生活を送り、自分のしたいことができ、友達との関わりも楽しめるようになったことが何よりうれしいことです。

<憧れや感謝の心を伝え合う>

生活発表会の前後にはお互いの劇を見合ったり、他の学級の劇のダンスを教え合ったり、衣装や小道具・大道具を借りて遊んだりする交流があちこちで見られます。大事なことが伝承されたり憧れの気持ちが膨らんでいたりしています。一人の育ちが互いに影響し合って、育ちが膨らんでいることが感じられるうれしい季節です。この一年は、思いやりの心をもって支え合うことの大切さを痛感した日々でもありました。周囲の人に感謝の気持ちを丁寧に伝えることも大事にしていきたいと思えます。皆さん本当にありがとうございました。

・・・弥生（やよい）・・・

けいちつ

啓蟄（5日）…園庭ではどんな虫たちが目覚めるでしょう

しゅんぶん

春分（21日）…園庭の桜はいつ頃開花するでしょうか…

この冬は、東京でも雪が3回も降り、寒い日も長く続き、例年よりも春の訪れが少し遅いようです。昨年の今頃はいたヒキガエルがわくわく池にまだ姿を見せていません。何事も毎年同じではないのですね。それでも、園庭に春を探しに出掛けた年長児が、裏庭でフキノトウやホトケノザを見付けて教えに来てくれています。自然の小さな変化に気付く感性は、子どもたちの小さな育ちを読み取る感性にもつながります。さてこの一年、皆さんはどこで季節の移ろいを感じたのでしょうか？

青南の 二十四節気



隣の学級の劇に役を交換して楽しむ年中児



お互いの劇を他の学年の子たちも見ます



贈呈式で赤十字の方に募金を託します



英語で遊ぼうでは体を動かしながら学びます



子どもだけで横断歩道を渡る訓練もしました